

令和 8 年度

業 務 番 号 繰 委 第 5 5 3 2 号

..... 白浜海岸外長寿命化計画策定 業務委託

特 記 仕 様 書

1. 設計図書に対して質問がある場合は 青森県三八県土整備事務所河川砂防施設課 あてに質問書を 令和8年6月22日 の 12時00分 までに提出して下さい。
(質問書送付先FAX番号 : 0178-27-4715)
2. 回答書は 令和8年6月25日 の 12時00分 までにFAXで回答します。
3. 回答は、質問書を提出した会社を含め全社に通知します。
4. 上記以外の方法による質問・問い合わせ等は、ご遠慮願います。
【電話やメール、直接来訪をされての質問・問い合わせには、一切お答えできません】

..... 八 戸 市 大 字 鮫町外 地内.....

青 森 県 三 八 県 土 整 備 事 務 所

第 1 章 総 則

第 1 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「設計業務等共通仕様書」によるほか、特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 2 条 委託業務日数又は履行期限

1. 業務日数 日
2. 履行期限 令和 9 年 1 月 2 5 日

第 3 条 照 査 技 術 者

本業務については照査技術者を配置すること。

第 4 条 打ち合わせ等

設計業務着手時、設計業務の主要な区切り及び設計業務完了時において行う打ち合わせは、4 回とする。設計業務の主要な区切りは、調査職員との協議によるものとする。

なお、設計業務着手時及び設計業務完了時の打ち合わせには、管理技術者及び照査技術者が立ち合うものとする。

第 5 条 設 計 業 務 計 画

本業務における業務計画書は、第 1 回打ち合わせ後、速やかに提出するものとする。

第 6 条 資 料 の 貸 与

貸与する図書及びその他の関係書類は下記のとおりとする。

.....
海岸台帳
.....
過年度業務成果品
.....
.....

第 7 条 履 行 報 告

受注者は、契約書第 1 5 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第 8 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

第 2 章 業 務 内 容

第1条 設 計 条 件

設計条件は、下記のとおりとする。

工 種 作 業 条 件

別途「業務全体の流れ」及び「青森県海岸保全施設長寿命化計画策定要領（案）」を
参照のこと。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第2条 B I M／C I Mの活用について

本業務は、「青森県県土整備部所管土木事業におけるB I M／C I M活用実施要領」に基づき、受注者の希望により3次元モデルを活用できるものとする。

3次元モデルの活用を希望する場合は、業務受注後、調査職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。

費用は、発注者が必要と認めるものに限り設計変更の対象とする。

第3条 その他

- － 1) 完成検査の予定については、実施予定の前月 15 日までに予定日を調査職員に報告のこと。
- － 2) 色彩等の景観の検討については、青森県景観条例に基づき、「青森県公共事業景観形成基準」及び「青森県景観色彩ガイドプラン」を遵守しなければならない。
- － 3) 防犯に配慮した環境の検討については、「防犯に配慮した設計ガイドライン」を遵守しなければならない。
- － 4) 「青森県リサイクル製品の認定及び使用の推進に関する条例」（青森県リサイクル製品認定制度）第9条第1項の規定により制定された、「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」を遵守しなければならない。
- － 5) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- － 6) 本業務は、ウィークリースタンス等の実施対象業務である。実施にあたっては、「県土整備部発注設計業務等におけるウィークリースタンス等の実施について」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むものとする。

＜整備企画課 HP＞

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

- － 7) 本業務では、情報共有システムを利用することを原則とする。
なお、システムの利用に適さない場合は、調査職員との協議によりシステム利用の対象外とすることができる。

情報共有システム利用基準 ＜整備企画課 HP＞

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

第 3 章 成 果 品

第1条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

1. 報告書

(1) 電子媒体 (CD-ROM)1.....部

(2) 紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む)1.....部

2. その他

(1) 現地調査写真集部 (報告書電子媒体に含む)

.....
.....
.....

設計業務等に関する提出書類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	業 務 工 程 表	契 約 後 14 日 以 内	1	3 条
建設管理課	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査職員	業 務 履 行 報 告 書	毎月 1 回、調査職員の指定日	1	15 条
調査職員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査職員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査職員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	照 査 技 術 者 通 知 書	設計図書で定められている 場合、契約後遅滞なく	1	11 条
建設管理課	管理(照査)技術者変更通知書	変 更 の 都 度	1	10 条・11 条
調査職員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査職員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査職員	履行期間の変更請求書	変更を必要とするとき	1	23 条
調査職員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査職員	指定部分に係る（又は、引渡 部分に係る）業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1	1112 条
調査職員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)1110 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	1109 条
調査職員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	1109 条
調査職員	照 査 報 告 書	業 務 完 了 後	1	1108 条
調査職員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	1116 条
調査職員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	1132 条
調査職員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS 登録技術の活用を希望するとき	1	1139 条
調査職員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	1139 条
調査職員	生 産 性 向 上 提 案 書	後段階の設計において 一層の生産性向上の検討の 余地が残されている場合	1	1209 条

○業務全体の流れ

業務全体の流れは下図フローのとおりである。

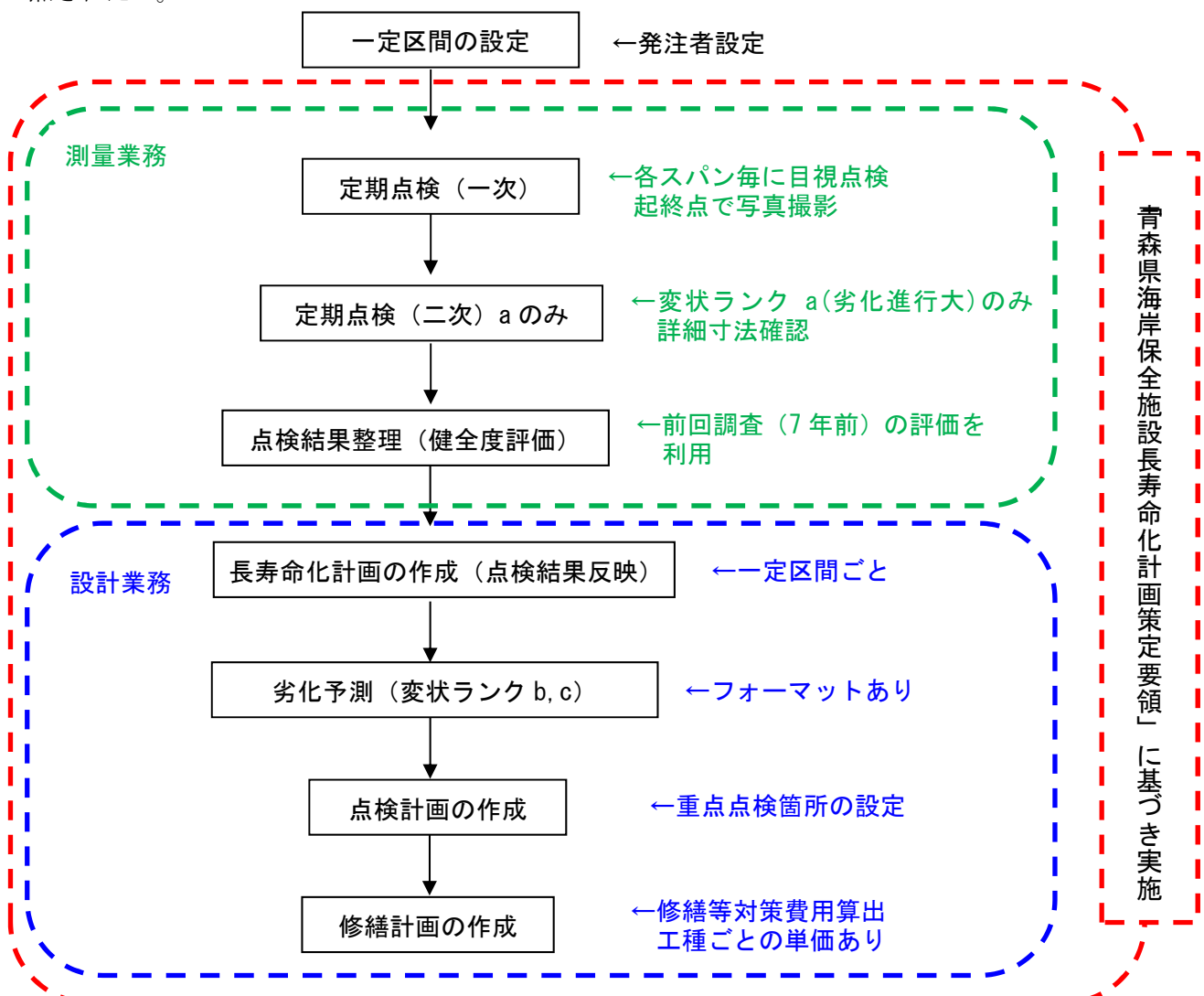
定期点検（測量業務）については、現地にて一次点検（目視点検）を行うものであるが、前回の調査結果を踏襲し、変状ランク a（劣化の進行大）の場所のみ二次点検（詳細調査）を行う。

長寿命化計画策定（設計業務）については、過年度業務において作成された点検調書があるため、これを用いて各海岸の情報や写真、定期点検結果、平面図、横断図等に入れ替える作業となる。各海岸の台帳や空中写真、過年度業務成果品（点検調書等）の電子データは貸与する。

今回の業務単位は、**緑色の定期点検（測量業務）** 1km あたり、**青の長寿命化計画策定（設計業務）** 1 海岸あたりとする。

なお、本業務は1 業務につき、複数の海岸を想定しており（複数海岸分の長寿命化計画を作成）、緑の測量業務は複数の海岸保全区域に応じた点検距離となる。

業務内容の詳細については、別紙「**青森県海岸保全施設長寿命化計画策定要領**」を参照されたい。



青森県海岸保全施設長寿命化計画策定要領（案）

～海岸堤防・海岸護岸の点検・評価及び長寿命化計画の策定～

平成２８年８月

青森県河川砂防課

目次

1. 本要領の目的.....	1
2. 長寿命化計画策定業務全体の流れ.....	1
3. 定期点検.....	2
3.1) 点検結果整理までの流れ.....	2
3.2) 海岸長寿命化にかかる定期点検の位置付け.....	2
3.3) 定期点検時の工夫.....	2
3.4) その他留意点.....	4
4. 海岸保全施設長寿命化計画の作成要領.....	8
「鰯ヶ沢海岸大和田川原地地区長寿命化計画」を例とした作成のポイント.....	9

青森県海岸保全施設長寿命化計画策定要領（案）

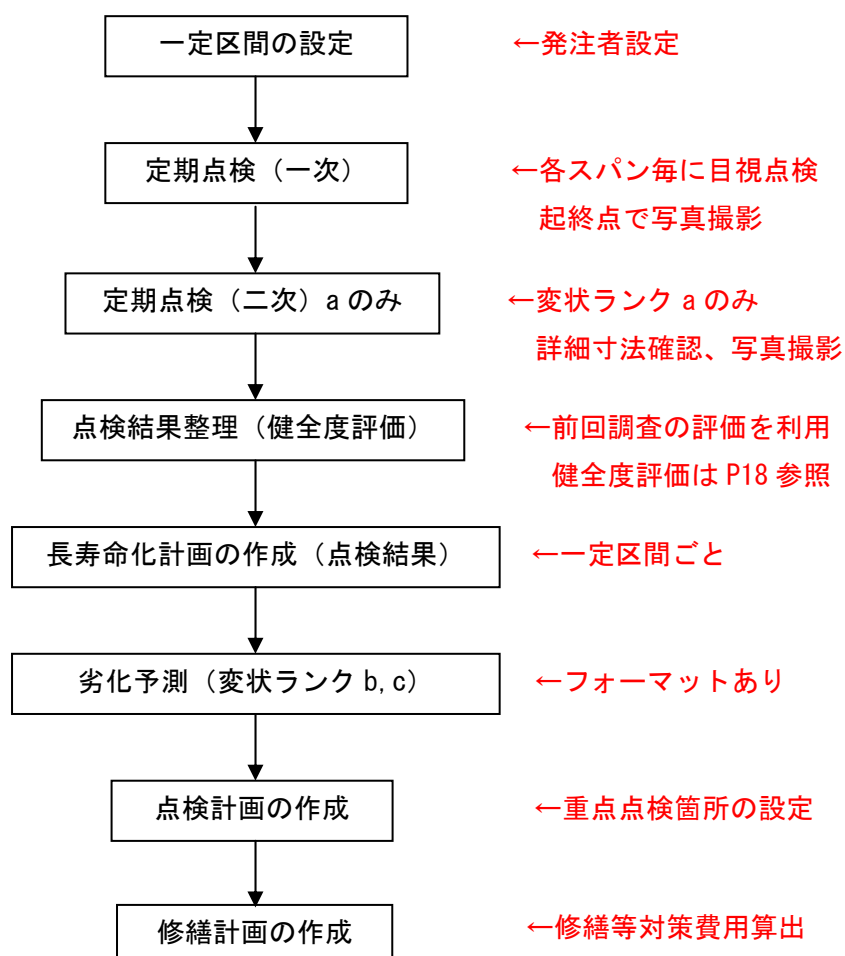
1. 本要領の目的

国土交通省では「海岸保全施設維持管理マニュアル～堤防・護岸・胸壁の点検及び長寿命化計画の立案～」(以下、「マニュアル」という。)を策定(平成26年3月)し、海岸保全施設において、予防保全型の効率的・効果的な維持管理を推進するため、巡視(パトロール)を含む点検及び評価の標準的な要領が示されるとともに、長寿命化計画の立案や対策工法、点検データ等の記録・保存についても詳細が示された。

青森県においても、本マニュアルに基づき5年に一度点検を行うとともに海岸保全施設長寿命化計画を策定していくことになるが、海岸保全施設が約123kmに及ぶ本県特有の地形から、すべての箇所を、すべての項目について、かつ詳細まで、マニュアルに基づき進めるのは多大な時間を要する。

このため、本要領では水管理・国土保全局所管海岸を対象に、暫定的な点検や計画策定のルールを設定し、より効率的・効果的に業務を進めることを目的とする。ただし、5年毎の点検時には不足事項を補足し、内容を精査していくことを基本とする。なお、本要領は、マニュアルに基づくことを原則とし、マニュアルを逸脱するものではない。

2. 長寿命化計画策定業務全体の流れ



3. 定期点検

1) 点検結果整理までの流れ

①一定区間※の設定

海岸管理者（発注者）が設定する。

※法線が変わっている箇所、断面が変わっている箇所等を境として設定された区間

②定期点検（一次点検）の実施

目視により全スパンを対象として現地にて実施する。なお、スパン毎の評価は前回調査（5年前）の評価を利用する。（最新の様式に前回の評価を記入すること）

変状の有無にかかわらず、全スパンの起点・終点で写真を撮影し、調書を作成する。

③定期点検（二次点検）の実施

目視点検により変状ランク a 評価（変状が進行している箇所） のスパンのみ行う。

変状ランクの評価基準はマニュアル p35～p41、付録-4 変状事例集を参照。

④点検結果整理

所定の様式に、従来の点検結果から評価を転記する。変状ランク a と評価したスパンについては、写真や変状位置図を整理する。

2) 海岸長寿命化にかかる定期点検の位置付け

海岸構造物は、主に重力により外力に抵抗する構造物であることから、本業務における変状 a と評価する箇所は、「転倒・欠損している」、「ひび割れが 5mm 以上」、「陥没している」、「空洞化している」など、変状がかなり進行している箇所である。

このことを踏まえ、緊急に修繕や更新が必要な箇所を見つけることに主眼を置き作業を進めることで、業務のさらなる効率化を図ることが本業務における定期点検の位置付けとしている。

むしろ、微細なクラックや多少の欠損・変状は、上記の趣旨を考慮すると、詳細な記録を求めるものではない。また、本業務の定期点検は、補修や更新の工事を発注するためのものではない。

3) 定期点検時の工夫

G P S 機能付きカメラを利用することで、点検後も撮影位置を確認できる。



図. 1 G P S 機能付きカメラの例

点検時には、「海岸保全施設維持管理マニュアル」の「付録4 変状事例集」をラミネート加工し、点検時に常に携行し変状現象の判定に利用するのも有効である。

また、各区分によって多種多様なコンクリートブロックが設置されているため、その種類をすぐに確認できるようブロック立体図一覧を携行したり、ブロックの同定で撮影場所を確認したりするのも一つの手段である。



図. 2 ラミネート加工を施した変状事例集及びブロック立体図の例

点検箇所は、陸側から行う「波返工（天端、陸側側面）」、「天端被覆工」、「排水工」と、海側から行う「表法被覆工」、「消波工（消波堤工）」、「根固工」に大別される。

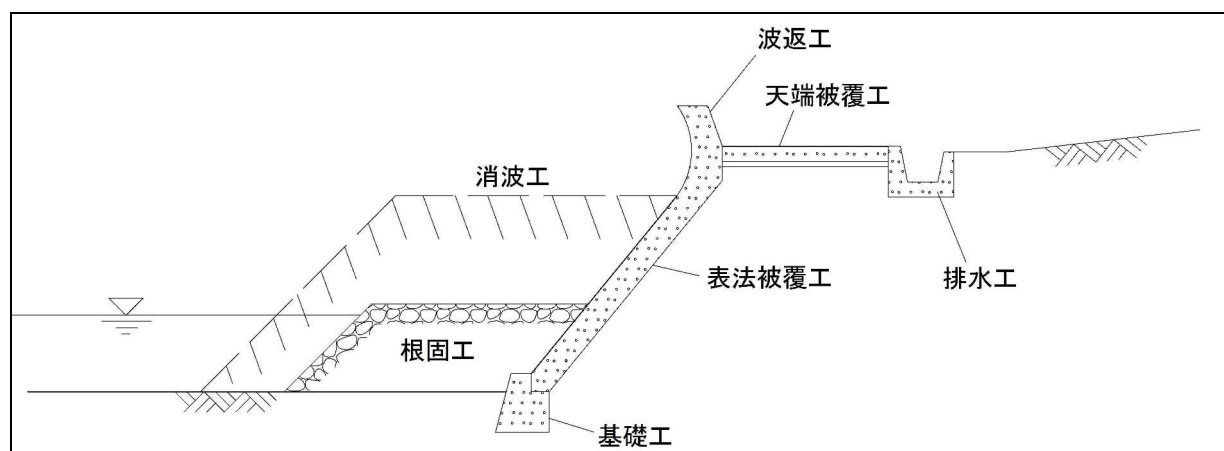


図. 3 海岸保全施設

スパン毎に陸側・海側すべての施設を調査しながら進めると非効率である。陸側の点検をある程度進めた後に、海側をまとめて点検する、あるいは陸側すべてを調査してから、海側を進めるなど工夫が必要である。その際、点検終了箇所を確認するため、波返し天端にカラーコーンを置いたり、チョークで堤体にマーキングしたりすることが有効な手段として考えられる。(図. 4 参照)

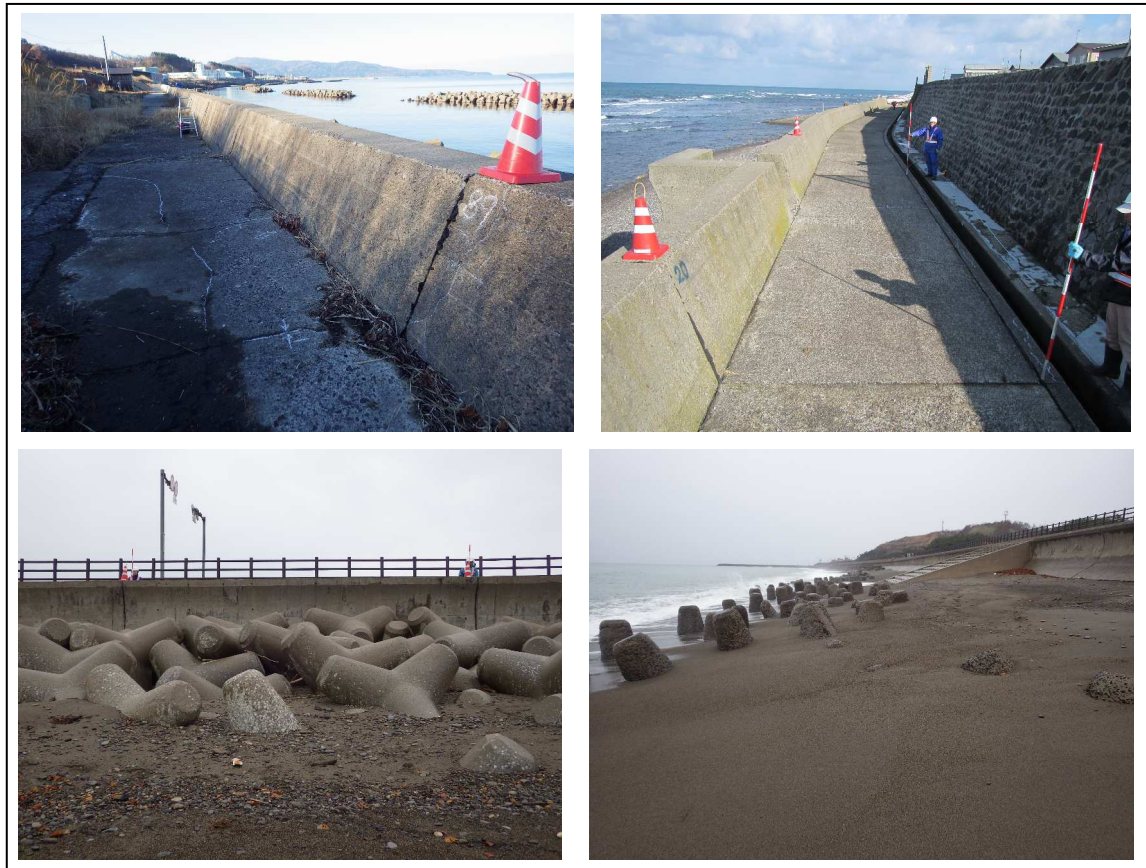


図. 4 点検終了箇所確認の工夫

4) その他留意点

海岸によっては、砂等の堆積や草木により施設がよく確認できない場合や、漁網や養殖施設により不法占用されている場合が考えられる。

このような場合は、可能な範囲で点検を行い、点検ができない箇所はその旨を調書に記入する。また、状況がわかるように写真を記録する。



図. 5 調査困難箇所の例

また、人工リーフや離岸堤・沖合の消波堤など、点検のために船舶や潜水士が必要となるような施設については、本調査の対象外とする。

前回調査集計表

17-鯨ヶ沢(大和田・川原地)海岸 その1(2/4)

一次点検

[illegible]

調査区間	スパン	延長	波破工	天端補綴工	表法被覆工	裏法被覆工	消滅工・根固工	砂浜	排水工	二次点検延長
	1	10.5	10.50	10.50	10.50	10.50	-	-	10.50	10.50
	2	10	10	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	3	8.05	8.05	8.05	8.05	8.05	-	-	8.05	8.05
	4	12.1	12.10	12.10	12.10	12.10	-	-	12.10	12.10
	5	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	6	10.15	10.15	10.15	10.15	10.15	-	-	10.15	10.15
	7	10.25	10.25	10.25	10.25	10.25	-	-	10.25	10.25
	8	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	9	10.35	10.35	10.35	10.35	10.35	-	-	10.35	10.35
	10	10.15	10.15	10.15	10.15	10.15	-	-	10.15	10.15
	11	10.05	10.05	10.05	10.05	10.05	-	-	10.05	10.05
	12	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	13	6.8	6.80	6.80	6.80	6.80	-	-	6.80	6.80
	14	10.35	10.35	10.35	10.35	10.35	-	-	10.35	10.35
	15	16	16.00	16.00	16.00	16.00	-	-	16.00	16.00
	16	10.15	10.15	10.15	10.15	10.15	-	-	10.15	10.15
	17	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	18	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	19	11.1	11.10	11.10	11.10	11.10	-	-	11.10	11.10
	20	10	10.00	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	21	10	10.00	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	22	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	23	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	24	10	10.00	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	25	9.9	9.90	9.90	9.90	9.90	-	-	9.90	9.90
	26	40.7	40.70	40.70	40.70	40.70	-	-	40.70	40.70
	27	10.1	10.10	10.10	10.10	10.10	-	-	10.10	10.10
	28	9.9	9.90	9.90	9.90	9.90	-	-	9.90	9.90
	29	9.9	9.90	9.90	9.90	9.90	-	-	9.90	9.90
	30	10	10.00	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	31	11.3	11.30	11.30	11.30	11.30	-	-	11.30	11.30
	32	8.45	8.45	8.45	8.45	8.45	-	-	8.45	8.45
	33	9.85	9.85	9.85	9.85	9.85	-	-	9.85	9.85
	34	10.6	10.60	10.60	10.60	10.60	-	-	10.60	10.60
	35	10	10.00	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	36	10.15	10.15	10.15	10.15	10.15	-	-	10.15	10.15
	37	9.8	9.80	9.80	9.80	9.80	-	-	9.80	9.80
	38	10.15	10.15	10.15	10.15	10.15	-	-	10.15	10.15
	39	9.9	9.90	9.90	9.90	9.90	-	-	9.90	9.90
	40	10	10.00	10.00	10.00	10.00	-	-	10.00	10.00
	41	9.8	9.80	9.80	9.80	9.80	-	-	9.80	9.80
	42	7.8	7.80	7.80	7.80	7.80	-	-	7.80	7.80
		455.00	455.00	455.00	455.00	455.00	0.00	0.00	455.00	455.00
										100%

1-護岸工

[illegible][illegible][illegible]

スパンの数と延長は前回調査を利用する。

前回調査集計表

17-鯨ヶ沢(大和田・川原地)海岸 その1(2/4)

一次点検

二次点検	調査区間
1-護岸工	
2-護岸工	
3-消波工	
4-消波工	
合計距離	

調査区間	スパン	延長	波返工	天端被覆工	表法被覆工	裏法被覆工	消波工、根固工	砂浜	排水工	健全度評価
	1	0.31	c	c	-	-	-	-	-	c
	2	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	3	3	0.05	c	c	-	-	-	-	c
	4	2.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	5	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	6	1.15	c	c	-	-	-	-	-	c
	7	1.25	c	c	-	-	-	-	-	c
	8	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	9	1.35	c	c	-	-	-	-	-	c
	10	1.15	c	c	-	-	-	-	-	c
	11	1.05	c	c	-	-	-	-	-	c
	12	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	13	6.8	c	c	-	-	-	-	-	c
	14	1.35	c	c	-	-	-	-	-	c
	15	1.6	c	c	-	-	-	-	-	c
	16	2.3	c	c	-	-	-	-	-	c
	17	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	18	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	19	1.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	20	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	21	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	22	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	23	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	24	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	25	9.9	c	c	-	-	-	-	-	c
	26	0.7	c	c	-	-	-	-	-	c
	27	0.1	c	c	-	-	-	-	-	c
	28	9.9	c	c	-	-	-	-	-	c
	29	9.9	c	c	-	-	-	-	-	c
	30	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	31	1.3	c	c	-	-	-	-	-	c
	32	4.8	c	c	-	-	-	-	-	c
	33	3.5	c	c	-	-	-	-	-	c
	34	0.6	c	c	-	-	-	-	-	c
	35	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	36	1.15	c	c	-	-	-	-	-	c
	37	9.8	c	c	-	-	-	-	-	c
	38	1.15	c	c	-	-	-	-	-	c
	39	9.9	c	c	-	-	-	-	-	c
	40	1.0	c	c	-	-	-	-	-	c
	41	9.8	c	c	-	-	-	-	-	c
	42	7.8	c	c	-	-	-	-	-	c
	45	0.0								

調査区間	スパン	延長	波高工	天端被覆工	裏法被覆工	消波工、根固工	砂浜	排水工	健全度評価
2・護岸工	1	10	g	g	-	-	-	-	C
	2	95	g	g	-	-	-	-	C
	3	100	g	g	-	-	-	-	C
	4	100	g	g	-	-	-	-	C
	5	100	a	g	-	-	-	-	A
		5	05						

[illegible][illegible]

変状ランクの評価は前回の評価を利用

前回調査時の点検シート

【点検概要記入欄】

海岸名

鯉ヶ沢海岸

地区名

大和田・川原地区

施設名

堤防

点検者氏名

川村 智

天候:

曇り

点検者所属

（※記入欄はコンクリート製堤防の場合）

点検を実施した全範囲

No.0

～No.5

スパンNo

5

【点検結果記入欄】

各項目に対して、該当する変状ランクをチェックする。

点検位置	変状現象	変状・損傷ランク				健全度評価結果		A
		a	b	c	d	点検結果		
波源工	ひび割れ	複数前面まで達するひび割れ・亀裂が所持手いる。	複数方向に幅mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1mm以下のひび割れが生じている。	a	L=4.1m B=1cm	
	剥離・損傷	広範囲に部材の深部まで剥離・損傷が生じている。	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている。	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている。	ごく小規模の剥離・損傷が生じている。	c	L=11.0m S=4.1m	
	鉄筋の露食	浮き腐が多く、鉄筋断面の大部分あるいは全周に亘る露食が広範囲に認められる。	浮き腐が多く、鉄筋断面の大部分あるいは全周に亘る露食が広範囲に認められる。	露汁が多く、鉄筋断面が広範囲に認められる。	一部に露汁、点錆が見られる。		L=	S=
	目地の開き、相対移動量	転倒、あるいは欠損がある。	移動に伴う目地の開きが大い、天端工との目地部より水の浸透がある。	目地ずれがあるが、水の浸透はない。	目地部にわずかなずれ、段差、開きが見られる。		B=	H=
							D=	
天端被覆工	沈下・陥没	陥没がある。	沈下による凹部が目立つ。	—	部分的な沈下が見られる。		L=	S=
	ひび割れ	複数前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(5mm相当)。	複数方向に幅mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1mm以下のひび割れが生じている。	c	L=0.03m B=1mm	
	目地の開き、相対移動量	目地部、打継ぎ部にずれが生じる。	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある。	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない。	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる。		B=	H=
	剥離・損傷	広範囲に破損、または流出している。	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている。	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている。	ごく小規模の剥離・損傷が生じている。		L=11.0m S=3.0m	
							B=	H=
排水工	目地の開き、相対移動量	転倒、あるいは欠損がある。	移動に伴う目地の開きが大い、天端工との目地部より水の浸透がある。	目地ずれがあるが、水の浸透はない。	目地部にわずかなずれ、段差、開きが見られる。		B=	H=
	移動・散乱及び沈下	消波工断面がブロック1層以上減少している。	消波工断面が減少している(ブロック層未満)。	—	消波ブロックの一部が移動、散乱、沈下している。		L=	S=
	消波工	消波工断面がブロック1層以上減少している。	消波工断面が減少している(ブロック層未満)。	—	消波ブロックの一部が移動、散乱、沈下している。		L=	S=
	ひび割れ	複数前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(5mm相当)。	複数方向に幅mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1mm以下のひび割れが生じている。		L=	B=
							L=	S=
表法被覆工	沈下・陥没	陥没がある。	沈下による凹部が目立つ。	—	部分的な沈下が見られる。		L=	S=
	目地の開き、相対移動量	目地部、打継ぎ部より背面土砂が吸出されている。	変位に伴う目地部、打継ぎ部のずれはあるが、吸出しは浸透はない。	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる。			B=	H=
	剥離・損傷	広範囲に部材の深部まで剥離・損傷が生じている。	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている。	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている。	ごく小規模の剥離・損傷が生じている。		L=	S=
	鉄筋の露食	浮き腐が多く、鉄筋断面の大部分あるいは全周に亘る露食が広範囲に認められる。	浮き腐が多く、鉄筋断面の大部分あるいは全周に亘る露食が広範囲に認められる。	露汁が多く、鉄筋断面が広範囲に認められる。	一部に露汁、点錆が見られる。		L=	
	ひび割れ	複数前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(5mm相当)。	複数方向に幅mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない。	1mm以下のひび割れが生じている。		L=	B=
裏法被覆工	沈下・陥没	陥没がある。	沈下による凹部が目立つ。	—	部分的な沈下が見られる。		L=	S=
	目地部、打継ぎ部の状況	目地部、打継ぎ部にずれが生じる。	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある。	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない。	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる。		B=	H=
	剥離・損傷	広範囲に破損、または流出している。	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている。	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている。	ごく小規模の剥離・損傷が生じている。		L=	S=
							L=	S=
							L=	S=
砂浜	浸食・堆積	広範囲に亘る砂浜の決壊や隆起の形成がある。	汀線の後退が認められる。		要求なし。		L=	S=

a)については、再度現地確認し、二次点検を行う

転記する

新様式の点検シート

点検結果記入シート

【調査概要記入欄】

海岸名

大和田海岸

地区海岸名

大和田地区

施設名

No.3

調査年月日:

平成 27 年 10 月 30 日

天候:

晴

点検者氏名

小倉 秀治

点検者所属

(株)コンテック東日本

点検を実施した全範囲

No. 1

～ No. 57

スパンNo.

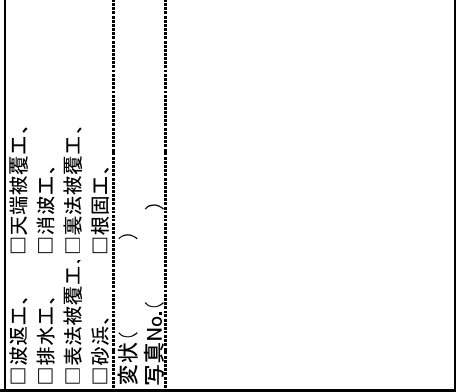
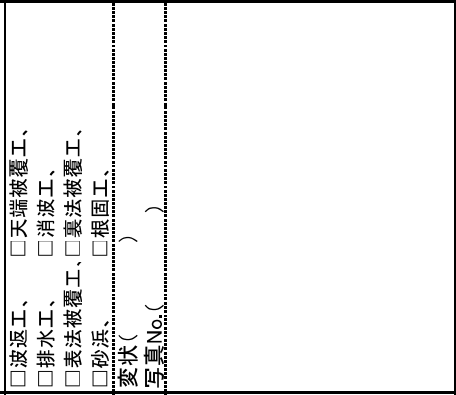
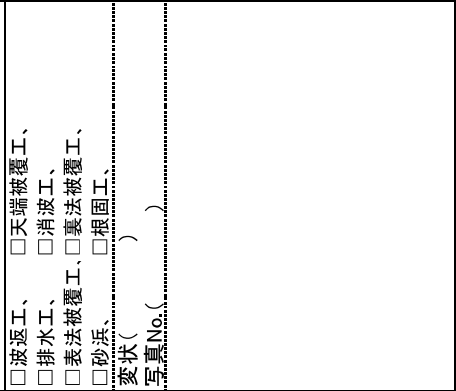
No.7

【調査結果記入欄】

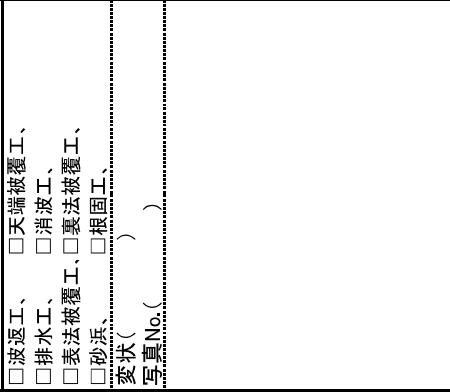
点検位置	変状現象	変状・損傷等のランク				変状ランクの判定結果		計測寸法(最大値)	
		a	b	c	d	評価結果			
		防護高さを満足していない	—	—	防護高さを満足している	d			
波源工 (胸壁については堤体工)	防護高さの不足	防護高さを満足していない	—	—	防護高さを満足している	d		D.L	
	ひび割れ	部分前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅5mm程度以上)	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1mm以下のひび割れが生じているか、ひび割れが生じていない	d		L=	
	剥離・損傷	広範囲に部材の深部まで剥離・損傷が生じている	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている	ごく小規模の剥離・損傷が生じているか、剥離・損傷が生じていない	d		S=	
	目地の開き、相対移動量	転倒あるいは欠損がある	移動に伴う目地の開きが大きい、目地部より水の浸透がある	目地ずれがあるが、水の浸透はない	目地部にわずかなずれ、段差、開きが見られる	d		B=	
	防護高さの不足	防護高さを満足していない	—	—	防護高さを満足している	d		D.L	
天端被覆工 (水叩き工を含む)	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない	d		L=	
	ひび割れ	部分前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅5mm程度以上)	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1mm以下のひび割れが生じているか、ひび割れが生じていない	c		L= 3.00m B= 2.0mm	
	目地部、打継ぎ部の状況	目地部、打継ぎ部にずれがある	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる	d		B=	
	剥離・損傷	広範囲に破損、または流出している	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている	ごく小規模の剥離・損傷が生じているか、剥離・損傷が生じていない	d		L=	
	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない	d		S=	
表法被覆工	ひび割れ	部分前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅5mm程度以上)	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1mm以下のひび割れが生じているか、ひび割れが生じていない	d		L=	
	目地部、打継ぎ部の状況	目地部、打継ぎ部にずれがある	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる	d		B=	
	剥離・損傷	広範囲に破損、または流出している	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている	ごく小規模の剥離・損傷が生じているか、剥離・損傷が生じていない	d		L=	
	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない	d		S=	
	目地の開き、相対移動量	目地部、打継ぎ部にずれがある	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる	d		B=	
	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない	d		L=	
	ひび割れ	部分前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(幅5mm程度以上)	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1mm以下のひび割れが生じているか、ひび割れが生じていない	d		L=	
	目地部、打継ぎ部の状況	目地部、打継ぎ部にずれがある	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる	d		B=	
	剥離・損傷	広範囲に破損、または流出している	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている	ごく小規模の剥離・損傷が生じているか、剥離・損傷が生じていない	d		L=	
	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない	d		S=	
消波工	移動・散乱及び沈下	消波工断面がブロック1層以上減少している	消波工断面が減少している(ブロック層未満)	—	消波ブロックの一部が移動、散乱、沈下している	d		L=	
	ブロック破損	消波ブロックが1/4以上ある	消波ブロックは1/4未満である	—	小さなひび割れが発生している	d		n=	
	ひび割れ	部分前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(5mm相当)	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1mm以下のひび割れが生じている	d		L=	
	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られるか、沈下が見られない	d		S=	
	目地の開き、相対移動量	目地部、打継ぎ部より背面土砂が吸出されている	変位に伴う目地部、打継ぎ部のずれはあるが、吸出しはない	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる		d		L=	
裏法被覆工	剥離・損傷	広範囲に部材の深部まで剥離・損傷が生じている	表面だけでなく部材の深部まで剥離・損傷が生じている	広範囲であって表面の剥離・損傷が生じている	ごく小規模の剥離・損傷が生じている	d		L=	
	鉄筋の露食	浮き腐が多く、鉄筋断面の大部分あるいは全周に亘る露食が広範囲に認められる	浮き腐が多く、鉄筋断面の大部分あるいは全周に亘る露食が広範囲に認められる	露汁が多く、鉄筋断面が広範囲に認められる	一部に露汁、点錆が見られる	d		L=	
	ひび割れ	部分前面まで達するひび割れ・亀裂が生じている(5mm相当)	複数方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1方向に幅数mm程度のひび割れがあるが、背面までは達していない	1mm以下のひび割れが生じている	d		L=	
	沈下・陥没	陥没がある	沈下による凹部が目立つ	—	部分的な沈下が見られる	d		S=	
	目地部、打継ぎ部の状況	目地部、打継ぎ部にずれがある	目地部、打継ぎ部より水の浸透がある	目地部、打継ぎ部にずれがあるが、水の浸透はない	目地部、打継ぎ部にわずかなずれ、段差、開きが見られる	d		B=	
砂浜	剥離・損傷	広範囲に亘る砂浜の決壊や崩壊の形成がある	浜崖の形成の兆候がある	—	汀線の後退が認められる	d		D.L	
	浸食・堆積	浸食・堆積	浸食・堆積	—	浸食・堆積	d		W=	
						d		D.L	
						d		B=	
						d		H=	

※ 「必要に応じて実施する項目」やその他の部材(根固工等)については、実際の点検内容に応じて、適宜追加すること。

【変状写真シート】

海岸名	鵜ヶ沢海岸	地区名	大和田・川原柳地区	施設名	堤防	点検者氏名	川村 智
点検者所属		秀和設計コンサルタント(株)		点検を実施した全範囲		スパンNo.	No.5
損傷状況写真(点検位置にチェックを入れる。例)変状、写真No.、判定結果を()に記入する)							
<input checked="" type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状(ひび割れ) 写真No.(1)	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状(ひび割れ・剥離) 写真No.(2)						
<input checked="" type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状(ひび割れ・剥離) 写真No.(4)	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状() 写真No.()						
<input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状() 写真No.()	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状() 写真No.()						
<input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状() 写真No.()	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状() 写真No.()						

【変状写真シート】

海岸名	鵜ヶ沢海岸	地区名	大和田・川原柳地区	施設名	堤防	点検者氏名	川村 智
点検者所属		秀和設計コンサルタント(株)		点検を実施した全範囲		スパンNo.	No.3
損傷状況写真(点検位置にチェックを入れる。例)変状、写真No.、判定結果を()に記入する)							
<input checked="" type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状(ひび割れ・剥離) 写真No.(1)	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状(ひび割れ・剥離) 写真No.(2)						
<input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状() 写真No.()	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状() 写真No.()						
<input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状() 写真No.()	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状() 写真No.()						
<input type="checkbox"/> 波返工、 <input type="checkbox"/> 排水工、 <input type="checkbox"/> 表法被覆工、 <input type="checkbox"/> 砂浜、 変状() 写真No.()	<input type="checkbox"/> 天端被覆工、 <input type="checkbox"/> 消波工、 <input type="checkbox"/> 裏法被覆工、 <input type="checkbox"/> 根固工、 変状() 写真No.()						

4. 海岸保全施設長寿命化計画の作成要領

長寿命化計画の立案の考え方については、マニュアル p46～p58 のとおりである。海岸保全施設長寿命化計画（以下、「計画」という。）の作成例については、マニュアルの付録－7 P48～80 に示されているところであるが、ここでは、青森県内において作成する場合の具体的な作成例を示す。

なお、計画内にある一般的な図や表については、すでに電子フォーマット（ワードやエクセル、C A Dデータ）が作成されているため、受注者には当該データを貸与するものとし、新たにデータを作成する必要はない。

次頁から「鱒ヶ沢海岸 大和田川原地地区 長寿命化計画」を例とした作成のポイントを示す。

(全〇枚)

日

FAX : 0178-27-4715

F A X

綜委第5532号

白浜海岸外長寿命化計画策定業務委託

[illegible]

※質問がない場合は、提出の必要はありません

本票(FAX)による質問書提出以外の問い合わせには回答いたしません

受 領 確 認 書

令和 年 月 日

青森県三八県土整備事務所長 殿

会 社 名 _____

受領者氏名 _____

電 話 _____ F A X _____

業務番号 繰委第5532号

業務名 白浜海岸外長寿命化計画策定業務委託

上記業務委託の回答書を受領しました。